

「野外彫刻ながのミュージアム事業」について

1. 野外彫刻ながのミュージアム事業の概要

昭和48年、豊かな自然に恵まれた環境の中、彫刻のもつ芸術性を都市の景観に生かすことによって、文化の薫り高いまちづくりを目指し、「長野市野外彫刻賞」を企画し、毎年1～6点の受賞作品を市内の公園や街角に設置しており、平成20年度末には、137点になる。

賞の選考にあたっては、東京国立近代美術館企画課長などの野外彫刻の有識者による「長野市野外彫刻選考委員会」を組織し、選考いただいております。近年においては、長野市野外彫刻賞は、若手野外彫刻作家の登竜門としても認知されてきています。

また、平成9年には、冬季オリンピック開催を機に、国際都市として、その文化芸術性を高めるために、市内全域を美術館になぞらえた「野外彫刻ながのミュージアム構想」を発表している。

2. 野外彫刻ながのミュージアム事業について

(1) 野外彫刻新規設置事業

ア. 野外彫刻の新規設置の流れ

- ① 生涯学習課により設置場所の選定
(事業担当課、地元要望などに基づく)
- ② 野外彫刻選考委員会(委員:美術専門家)の開催
委員が、設置場所を視察し、周囲の風景・条件などにより、その場所にふさわしい作風の作家を選定いただいている
- ③ 選定された作家が現場を確認し、オリジナル作品を制作の上、設置している

イ. 近年の野外彫刻の新規設置状況

平成18年度 「A・UN」 速水 史朗 作
生涯学習センター前広場

平成19年度 「オウシ・ゾウケイ2007」 牛尾 啓三 作
城山公園(旧市営球場跡地)

「ANIMAL2008」 三沢 厚彦 作
城山公園(旧市営球場跡地)

平成20年度 「時間塊7」 原 透 作
上千歳広場(TO i GO立体駐車場東側)

(2) 既存野外彫刻管理事業

ア. 野外彫刻のメンテナンス(137点)

イ. 野外彫刻の修復・修繕工事

ウ. 地元育成会及び老人クラブに野外彫刻周辺の植栽帯の維持管理委託

(3) 野外彫刻の活用事業

長野市の野外彫刻は、彫刻のもつ芸術性を都市の景観に生かすことによって、文化の薫り高いまちづくりを目指す中、優れた作品が周囲の景観に調和をして、

市民の憩いの場や学習の場として、利用されている。

引き続き、野外彫刻を活用した事業を実施していくとともに、今まで以上の活用を行っていく。

ア. 野外彫刻めぐり事業

概要

市のバスにより、野外彫刻（1回10点程度）を、彫刻の講師の解説を受け、見学を行うもの。

目的

日常生活の中に設置してある野外彫刻に実際にふれる機会を持つとともに、講師の解説を受けることにより、彫刻（芸術）に対する興味や理解を深めるもの。

近年の実績

平成18年度

9回実施 参加者160名

平成19年度

7回実施 参加者146名

平成20年度

8回実施 参加者 88名

イ. 野外彫刻写真コンテスト

概要

野外彫刻を配した写真コンテストの実施及び入賞作品の展示

目的

写真コンテストを実施し、入賞作品を市内のイベントや展示スペースに展示することにより、本事業を紹介するとともに野外彫刻及び写真の魅力に親しんでもらうもの。

近年の実績

平成18年度 79点応募

平成19年度 107点応募

平成20年度 79点応募

展示場所

- ・生涯学習センター
- ・長野市役所市民ギャラリー、
- ・ながの東急百貨店オフギャラリー
- ・長野市文化芸術祭（長野市民会館）
- ・長野市文化芸術祭（もんぜんぷら座市民ギャラリー）
- ・広報ながの（12/1号）上位入賞作品の紹介
- ・長野市ホームページでの紹介

ウ. 印刷物の配付

- ・ガイドブック、散策マップ（別紙参照）などの配付

3. 今後の野外彫刻事業の展開について

(1) 新規設置について

①設置の必要性、②設置の効果、③地域的な配慮の3点を検証しながら、150点までは、設置していく。

(2) 既存野外彫刻管理事業

引き続き、良好な状態を保つため管理をしていく

(3) 活用について

既存事業：野外彫刻めぐり、野外彫刻写真コンテスト、
ガイドマップの作成等

新規：野外彫刻案内ボランティア育成講座、野外彫刻子ども講座、
野外彫刻スタンプラリー、市民による野外彫刻賞の選定
市外旅行会社への売り込み、ポスター・グッズなどの作成 他
※ 財源の確保とともに、実施を検討していく。

4. 中心市街地への事業について

財源の確保とともに、長野市中心市街地活性化基本計画に基づき、平成23年度まで新規設置していきたいと考えている。

5. 野外彫刻ながのミュージアム事業の課題について

長野市の野外彫刻は、彫刻のもつ芸術性を都市の景観に生かすことによって、文化の薫り高いまちづくりを目指して設置してきた。その結果、市内の広範囲に設置することとなった。また、野外彫刻の観光的活用についての意見もあるが、そもそも観光施設として、設置されておらず、観光的活用は難しい面があった。

しかしながら、社会の情勢を鑑み、市内各地に設置されている野外彫刻について、観光資源的活用、また、中心市街地に多く設置されている野外彫刻及び新規設置する野外彫刻について、中心市街地の活性化に寄与できる活用方法を検討していきたいと考えている。

野外彫刻ながのミュージアム事業 地区別設置リスト (野外彫刻めぐり近年の鑑賞状況)

第一地区

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
5	水浴	高田 博厚	ひまわり公園		○			
52	瑞象	橋本 正司	市立長野図書館	○	○	○		
91	デュエット	鹿田 淳史	往生地公園	○	○	○		
108	地殻-120個・NAGANO	岡本 敦生	長野県自治会館					○

第二地区

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
1	作品1972	土谷 武	城山公園(信濃美術館東)	○	○	○		
7	ある小さな祠のために	保田 春彦	城山公園(信濃美術館東)	○	○	○	○	
11	咬み合う立方体	堀内 正和	城山公園(信濃美術館東)	○	○	○	○	
14	笛吹き少年	舟越 保武	城山公園(動物園)	○		○		○
15	アニマル	向井 良吉	城山公園(児童遊園地)	○	○	○	○	
16	あるポーズ	桜井 祐一	城山公園(噴水東)	○		○	○	○
19	追憶	山本 正道	城山公園(蔵春閣前)	○	○	○	○	
21	半円柱II	豊福 知徳	城山公園(花時計東)	○		○	○	○
25	憩う	朝倉 響子	城山公園(児童遊園地)	○	○	○	○	
31	遙かなリズム	新宮 晋	城山公園(堀切)	○		○	○	
34	若い女	岩野 勇三	城山公園(噴水西)	○		○	○	○
38	転生	菊池 一雄	城山公園(信濃美術館東)	○	○	○	○	
43	オルメカの微笑	高橋 清	城山公園(花時計西側)	○		○	○	○
51	ピクニック	渡辺 豊重	少年科学センター	○		○		○
115	梟月夜	手塚 登久夫	湯谷団地遊園地					
135	オウシ・ゾウケイ2007	牛尾 啓三	城山公園(ふれあい広場)					○
136	ANIMAL2008	三沢 厚彦	城山公園(ふれあい広場)					○

第三地区

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
3	道標	柳原 義達	南千歳公園					
8	まわる曲線のリング	伊藤 隆道	市民会館前	○	○	○		○
10	二歳	佐藤 忠良	柳町公園	○		○		
12	津舞	一色 邦彦	守田公園				○	○
35	ウインドダンサー	関 正司	長野大通り(権堂駅)					○
49	ランララチンチンオトコノコ	最上 壽之	長野大通り(市役所駅前)					○
50	小話	高田 大	長野大通り(市役所駅前)					○
56	しなのの木	空 充秋	長野大通り(権堂駅前)					○
60	明日へ	峯田 義郎	長野市役所第二庁舎前	○	○	○		○
65	雲のロンドーマチス讃歌ー	中垣 克久	市役所第一庁舎北側	○	○	○		○
97	タクト	圓鏑 勝三	勤労者女性会館しなのき					○
116	金属と樹液の距離	津久井 利彰	れすぽ ちとせ(南千歳)	○	○	○		
134	A・UN	速水 史朗	生涯学習センター			○		
137	時間塊7	原 透	上千歳広場					

第四地区

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
59	波と貝から与えられたフォルム	高橋 清	信濃毎日新聞社前	○		○		
61	若い女	高野 佳昌	県庁前広場	○	○	○		
70	春	日高 頼子	長野県農協会館	○	○	○		
87	風	広井 力	長野県労働金庫	○	○	○		

第五地区

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
84	セレナード	中岡 慎太郎	ターミナル南通り		○			

野外彫刻ながのミュージアム事業 地区別設置リスト (野外彫刻めぐり近年の鑑賞状況)

芹田

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
6	雪の肌	流 政之	ビッグハット		○			
22	花持つ少女	舟越 保武	長野信用金庫本店前広場	○		○		
63	STONE WORK-双	湯村 光	若里公園	○		○		
64	門	速水 史朗	丹波島橋北側	○	○	○		
101	地象	斎藤 顯治	市道芹田小伊勢宮線		○			
113	女の子	笹戸 千津子	母袋地区東通りポケットパーク	○		○		
118	風船を持つ少女	高嶋 文彦	長野市保健所	○	○	○	○	○
125	気流	西野 康造	長野駅東口		○			

古牧

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
27	ハート・モビール	田中 信太郎	三重公園					
98	交差する形94-1	内田 晴之	和田公園					○
117	月の庭-山の辺-	深井 隆	西尾張部尾張城跡公園					○

三輪

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
44	蝶幻想	城田 孝一郎	長野大通り(横山緑地帯)					
80	翼のある塔	戸谷 成雄	美和公園		○			
88	憩う時	綿引 道郎	市営宇木団地	○	○	○	○	○

吉田

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
71	北の母子	二口 金一	辰巳公園	○	○	○	○	○
93	月を盗む	藤原 吉志子	北長野駅横断地下道南側広場	○		○	○	
114	重力質-Floating Rain'98	曾我 孝司	長野電鉄信濃吉田駅前ロータリー		○			

古里

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
58	風景の外側	重村 三雄	古里公園					○
78	明るい眸	桑原 巨守	JR三才駅前広場	○	○	○		
100	"TAMAGETA"100BAN	流 政之	長野市民病院	○		○	○	○

柳原

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
68	E-の音 大きい太陽、小さい太陽	ハッ木 のぶ	柳原中央公園	○		○	○	
86	風	番浦 有爾	中俣土地区画整理地公園	○		○	○	

浅川

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
2	托鉢	矢崎 虎夫	霊園(道路)	○	○	○	○	○
4	母と子	加藤 昭男	霊園	○	○	○	○	○
9	風景の領域	小田 襄	霊園	○	○	○	○	○
13	時の流れ	木村 賢太郎	霊園(道路)	○	○	○	○	○
18	夜の詩	山本 常一	霊園(道路)	○	○	○	○	○
20	マスク	清水 九兵衛	霊園(道路)	○	○	○	○	○
26	やまびこ	澄川 喜一	霊園(道路)	○	○	○	○	○
30	漂流と原形	江口 週	霊園(道路)	○	○	○	○	○
48	丸三角四角	岩城 信嘉	霊園(さくら苑)	○	○	○	○	○
57	ポーズする踊り子	木内 岬	緑ヶ丘公園	○		○	○	
106	明時 Alba	齋藤 智	スパイラル	○	○	○	○	○

野外彫刻ながのミュージアム事業 地区別設置リスト
(野外彫刻めぐり近年の鑑賞状況)

大豆島

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
55	こども	堀口 泰造	サンマリンながの	○	○	○	○	○

朝陽

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
83	羽化-飛翔	有賀 敏子	朝陽支所			○	○	
96	地表より-聖獣伝	井上 麦	千曲川リバーフロント		○			○
107	Velocity	多田 美波	エムウェーブ	○	○	○	○	○
128	Casting-無題-	西 雅秋	南堀公園					○

若槻

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
33	マントの女	伊東 傀	昭和の森公園	○	○	○	○	
40	生動	雨宮 敬子	若槻南公園	○	○	○	○	
81	歩く人	田中 栄作	若槻東条県道荒瀬原線沿い	○	○	○	○	

長沼

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
77	長野の門	黒川 晃彦	長沼赤沼		○			○
89	太陽の子	井上 なぎさ	長沼支所		○			○

安茂里

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
82	風の夢	鈴木 徹	安茂里総合市民センター		○		○	
133	記念撮影-夏・安茂里-	峯田 敏郎	安茂里総合市民センター		○		○	

小田切

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
67	音の世界へ(目をとじて)	武荒 信顕	青少年錬成センター					

芋井

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
54	家族	松本 雄治	飯綱高原(大座法師池 池畔)	○	○	○	○	○
90	ポッコ!	寺田 武弘	アゼリア飯綱	○	○	○	○	○

篠ノ井

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
24	ローマの公園	淀井 敏夫	篠ノ井支所前	○	○	○	○	○
29	風よ	井上 玲子	茶臼山自然植物園	○	○	○		○
45	柱にもたれてアルトを吹けば...	黒川 晃彦	茶臼山動物園(ピクニック広場)	○	○	○		○
46	長い午後	掛井 五郎	しののい公園		○		○	○
47	紙の塔	山縣 壽夫	茶臼山動物園	○	○	○		○
62	江戸三歌人	田中 毅	東福寺公園		○		○	
72	逆転の確率	安藤 泉	南部勤労青少年ホーム		○			
75	豊饒の郷	向井 良吉	篠ノ井横田		○			
110	輪の仕掛け/ピクトワール オランジェ	生形 貴春	篠ノ井駅東口駅前広場					○
127	詩・燦	栄 利秋	篠ノ井駅西口	○	○	○		
132	柱上の舞	後藤 良二	第二学校給食センター		○		○	○

松代

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
17	少女	佐藤 忠良	真田公園	○	○	○		
28	屈む女	安田 周三郎	真田公園	○	○	○		
74	歴史の彼方へ	竹内 不忘	松代支所前	○	○	○		
92	トキメキ フレアイナガノ ユメ	最上 壽之	上信越自動車道長野インター					

若穂

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
53	少年	瀬戸 剛	国民宿舎永保荘前広場	○		○	○	
73	耀風	大成 浩	若穂支所前	○		○	○	
104	花の舞い'96-II	橋本 裕臣	牛島輪中公園	○		○	○	

野外彫刻ながのミュージアム事業 地区別設置リスト (野外彫刻めぐり近年の鑑賞状況)

川中島

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
69	夜明け	岡田 憲一	川中島支所	○		○		○
102	海の記憶	下川 昭宣	三本柳中央公園	○	○	○	○	
103	浮くかたち-赤・軸	植松 奎二	御厨公園		○		○	
109	連山夢想-長野	眞板 雅文	今井ニュータウン					○

更北

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
41	From 90° to 90° 「T」	松本 薫	青波公園					
66	アルウィン・ニコライの陽(眩鷲)	土田 隆生	長野卸売市場			○		
94	風のフォルム・TWICE	河崎 良行	更北公民館		○		○	
95	残像	竹屋 修	神明広田西公園					
99	楽園の囁き	アキホ タタ	氷鉋老人福祉センター	○	○			
105	Swing Swing	渡辺 豊重	ホワイトリング	○	○		○	○
121	きら星とカルナバル	中野 滋	稲里中央公園		○		○	
131	記憶の中の風景	斎藤 史門	ホワイトリング		○		○	○

七二会

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
79	ドン・キホーテ・シリーズ	池田 宗弘	七二会コミュニティーセンター		○		○	

信更

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
76	ARC OF NAGANO	松尾 光伸	信更町安庭	○				○
85	とびたい・ガルダーのように	細井 良雄	信更支所	○	○	○		○

長野運動公園

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
23	円盤投げ	ミュロン	長野運動公園		○			○
32	腰かける	柳原 義達	長野運動公園		○			○
36	花	千野 茂	長野運動公園		○			○

南長野運動公園

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
111	太陽の贈りもの	新宮 普	南長野運動公園	○	○	○	○	○
112	こだま'97	山本 正道	南長野運動公園	○	○	○	○	○
119	岩を動かした風	門脇 おさむ	南長野運動公園	○	○	○	○	○
120	連	澤田 美保	南長野運動公園	○	○	○	○	○
122	うつろひ	宮脇 愛子	南長野運動公園	○	○	○	○	○
123	UNTITLED 02-A	前田 哲明	南長野運動公園	○	○	○	○	○
124	つなぎ石 作品-38	山根 耕	南長野運動公園	○	○	○	○	○
126	風を孕む	丸山 映	南長野運動公園	○	○	○	○	○
129	時空・138-旅人-	石井 厚生	南長野運動公園		○		○	
130	“稲妻”(LAMPO)	長澤 英俊	南長野運動公園		○		○	○

八幡原史跡公園

No.	作品名	作者名	設置場所	16	17	18	19	20
37	若きカフカス人	中原 梯二郎	八幡原史跡公園(博物館前)	○	○	○		○
39	CLOUD 17 (暈)	建畠 覚造	八幡原史跡公園(博物館南)	○	○	○		○
42	演技者	吉田 芳夫	八幡原史跡公園(博物館前庭)	○	○	○		○

豊野・戸隠・鬼無里・大岡 なし

中心市街地循環バス ぐるりん号コース

公共
交通機関の
ご案内

ぐるりん号に乗って、
野外彫刻めぐりませんか。

〈料金〉◆大人 100円
◆小学生 50円



どの停留所に乗って、どの停留所で降りても同一料金です。

野外彫刻 散策マップ

「ながの野外彫刻ガイドブック」を長野市役所で無料配布しておりますので、ご利用ください。



お問合せ先

長野市教育委員会生涯学習課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613

TEL026-224-7504

← 「ぐるりん号」運行ルート

● 「ぐるりん号」停留所

運行日・通行時間

通年運行

- 長野駅始発【午前 9 時 30 分】～
20 分間隔で出発します。
- 長野駅最終発【午後 6 時 10 分】
- 周回約 45 分かけて一巡します。



長野大通りを北上する方面は、
このバス停から

※4番のりは発着
中央通りを北上する方面は、
このバス停から



孔雀鳩が一体みしている像です。この鳩は、目標を定めて飛び立ち、目的地に着くとまた新しく目標を定め飛んでいく性質があるそうです。道標という題名の由来です。

(柳原義達作・73年第1回長野市野外彫刻賞)

作品No.3 **道標**



作者は、角柱体を斜めに切ったり、直角に切ったりして、それを巧みに組み合わせる造形しています。これは、三角形のものを組み合わせ、木が枝を張り、伸びていく状態を表現しています。

(橋本正司作・85年第13回長野市野外彫刻賞)

作品No.52 **瑞象**



若い女性の裸像が、非常に力のこもった形となっています。ふくらんでいるところに空間的な量感を持たせたり、筋肉のかたまりを結合したり、かかとの開きを大胆にして、春の明るい華やかさを女体に託しています。

(日高頼子作・88年第16回長野市野外彫刻賞)

作品No.70 **春**



ロダンの系統に属する作者は、選いし重厚な作風があります。行水(ぎょうすい)をして立ち上がったやや斜め上を見ている若い女性の美しい瞳の輝きと健康美、タオルを後ろ手に持たせたポーズが自然体です。ふくらはぎの下からは、水の中にあることを示しているのです。

(高田博厚作・74年第2回長野市野外彫刻賞)

作品No.5 **水浴**



大きな石を同じような形に刻んで少しずつずらしながら積み上げて木が枝を張りながら上へ上へと伸びていく姿を表現しています。

(空秋欣作・86年第14回長野市野外彫刻賞)

作品No.56 **しなのの木**



大きな白味なかった黒い石を荒く磨いた下に、薄い平石を重ねて太い足のような形にしています。全体は、古代からノッシノッシと歩いてきた人間をイメージしています。

(中岡慎太郎作・91年第19回長野市野外彫刻賞)

作品No.84 **セレナード**



ステンレスの管を斜めに立て、その先に波打つように曲げたステンレスの管のリングを接着してあります。動力で動くようになっており、同じものを2本並べてあるため、廻りながらいろいろな造形を作り出します。

(伊藤隆道作・75年第3回長野市野外彫刻賞)

作品No.8 **まわる曲線のリング**



石の持つ形状から湧いてきたイメージを巧みに生かした作品です。四角に切って側面を磨いて出た縞模様は波に見え、その上に波に洗われ美しい形となった貝を白い大理石で表現して乗せてあります。

(高橋清作・86年第14回長野市野外彫刻賞)

作品No.59 **波と貝から与えられたフォルム**



御影石の中心に菱形の空間を作り、下方に長方形の空間を彫って、近代的象形文字の「風」をイメージしたモダンな造形です。

(広井力作・91年第19回長野市野外彫刻賞)

作品No.87 **風**



厚さ3mmのアルミニウムの板を叩いて形をつくり、研磨してから溶接し、つなぎ、また磨く作業を続けて全身を作っています。非常にシンプルで、風で廻ることによってスカートの形が変化します。

(関正司作・81年第9回長野市野外彫刻賞)

作品No.35 **ウィンドダンサー**



長野市政創立90周年のモニュメントで、高さ4m、幅4.5mの大きな作品です。右の箱形の上に若い乙女が腕を広げた姿は、長野市の躍進を象徴し、周りに配置した鳩は平和を表します。

(肇田義郎作・87年特別作品)

作品No.60 **明日へ**



文化勲章受章者である作者が89歳のとき制作した作品です。タクトの先が曲がっていますが、これは動きを表しており、インド産のルビーレッドの台座もよくマッチしています。

(團鐘勝三作・94年第22回長野市野外彫刻賞)

作品No.97 **タクト**



霜柱が土を突き上げるような勢いを表現したものです。その勢いが男の子にあるから題名も仮名でスキャット入りにして趣を添えたと言っています。

(最上壽之作・84年第12回長野市野外彫刻賞)

作品No.49 **ランララチンチンオトコノコ**



清楚な若さを表した女性像です。自然体で、県庁に出入りする人たちにつつましやかに挨拶を投げかけているようで、やすらぎを覚えます。

(高野佳昌作・87年第15回長野市野外彫刻賞)

作品No.61 **若い女**



厚さ2mm、太さ3.2cmのステンレスの長い管を束ねて8mの金属の塔を立ち上げて生命力を湛えた植物をイメージした作品。

植物に模された金属の束から発するエネルギーが生きつづけるような印象を与えてくれます。

(津久井利彰作・99年第27回長野市野外彫刻賞)

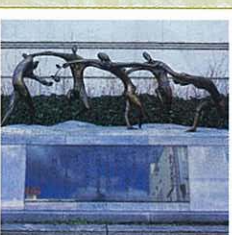
作品No.116 **金属と樹液の距離**



作者は、石の冷たさが逆に人間のそこはかない温かさを表すという作品を作り出しており、道を歩いてくる人に、さりげなく話しかける姿は人間疎外といわれる今の世にホッとさせた安らぎを与えてくれます。石をあまり磨かず、素朴さを表現しています。

(高田大作・84年第12回長野市野外彫刻賞)

作品No.50 **小話**



長野市政90周年のモニュメントで、5人の乙女が楽しく円舞曲を踊って、市の繁栄を祝っている姿です。マチスという画家は色彩感覚を大事にした人で、この作品を金色に塗った由来です。台座に長野市民憲章が記されています。

(中垣克久作・87年市制90周年記念特別作品)

作品No.65 **雲のロンドーマチス賛歌**



善光寺の山門に凛々しく立つ仁王像の阿吽像をモチーフにした作品です。格子状の石張りとは黒御影石の調和が印象に残ります。波形の黒御影石は、腰をおろすことができ、市民の語らいや憩いの場となっています。

(速水史朗作・06年第33回長野市野外彫刻賞)

作品No.134 **A・UN**

長野駅～城山公園コース



- 1 東長野病院線
 - 2 三才線
 - 3 浅川西条線
- (長電バス)
長野駅善光寺口6番のりばから乗車

野外彫刻 散策マップ

「ながの野外彫刻ガイドブック」を長野市役所で無料配布しておりますので、ご利用ください。



お問い合わせ先
長野市教育委員会生涯学習課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613
TEL026-224-7504

車窓から左手に

- 作品No.50 小話 (長野電鉄市役所前駅前)
- 作品No.35 ウインドダンサー (イトーヨーカドー前)

が御覧いただけます。

城山公園

- 作品No.51 ピクニック (少年科学センター前)
- 作品No.14 笛吹き少年 (城山動物園)
- 作品No.25 憩う (ふれあい広場)
- 作品No.31 遙かなリズム (ふれあい広場)
- 作品No.135 オウシ・ソウケイ 2007 (ふれあい広場)
- 作品No.15 アニマル (信濃美術館東)
- 作品No.11 咬み合う立方体 (信濃美術館東)
- 作品No.7 ある小さな祠のために (信濃美術館東)
- 作品No.1 作品 1972 (信濃美術館東)
- 作品No.38 転生 (信濃美術館東)
- 作品No.16 あるポーズ (噴水東)
- 作品No.21 半円柱Ⅱ (花時計西)
- 作品No.43 オルメカの微笑 (花時計西)
- 作品No.34 若い女 (噴水西)
- 作品No.19 追憶 (城山公民館前)

長野駅

12分
(230円)

車窓から右手に

- 作品No.49 ランラランチンオトコノコ (長野電鉄市役所前駅前)
 - 作品No.56 しなのの木 (イトーヨーカドー前)
 - 作品No.44 蝶幻想 (ながでんスイミングスクール斜め向かい)
- が御覧いただけます。

動物園下

徒歩
約10分
(坂道)

少年科学センター (026-232-7383)

子どもたちの研究心をくすぐる展示物がいっぱい。土・日曜日、祝日にはサイエンスショーも。

開館時間 / 9:00~16:30 (入館は16:00まで)
休館日 / 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)、
祝日の翌日、年末年始、第3金曜日
料金 / 大人250円 高校生150円 小・中学生50円

城山動物園 (026-233-0586)

37種類の動物が展示されている入場料無料の動物園。メリーゴーランドやモノレール新幹線などの遊具もあり、子ども連れにぴったり。

開園時間 / 9:00~17:00 (11月~2月は16:30まで)
休園日 / 12月~2月の毎週月曜日
(休日の場合はその翌週)、12/29~12/31
料金 / 無料

長野県信濃美術館・東山魁夷館 (026-232-0052)

信州ゆかりの作品を収蔵し、年4回企画展を開催する信濃美術館に、静謐な日本画で知られる東山魁夷の作品を展示する東山魁夷館を併設。信州は魁夷にとって「作品を育ててくれた故郷」と呼ぶ地。

開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 / 毎週水曜日 (祝日休日は開館)、12/29~1/1
料金 / 大人500円 大学生250円 高校生以下無料

善光寺

徒歩30分
又は
ぐるりん号
約10分
(「善光寺入口」から)

城山公園前

(川中島バス)
約18分
(150円)

長野駅





白御影石を長方形に切った同形のを少しずつずらして、2枚ずつ左右に並べ、中心に小ぶりのものを1枚置き、その上に鉄板を20枚重ね、鉄板の先端を少し上向きに曲げ、正方形に9つに割ってあります。横から見ると、流線形のスピード感があり、近代感覚にあふれた作品です。

(土谷武作・73年第1回長野市野外彫刻賞・城山公園信濃美術館東)

作品No.1 **作品1972**



大きな立方体の白御影石の前方下部に立方形の穴を開け、そこへステンレスで階段を作って中へ導入しています。穴の奥には、お宮の祠らしいものを作っています。

(保田春彦作・74年第2回長野市野外彫刻賞・城山公園信濃美術館東)

作品No.7 **ある小さな祠のために**



幾何形のを多様に造形する作家です。3つか4つの立方体が咬み合っているように見えますが、これを展開すると正方形を4つ並べて3段にし、1つつづ左にずらせた平面になります。ステンレスを素材に組み立てています。

(堀内正和作・75年第3回長野市野外彫刻賞・城山公園信濃美術館東)

作品No.11 **咬み合う立方体**



戦後、我が国で初めての群像「長崎の二十六聖人像」を作った作者は、人の内にある汚れなき精神を表現する作品を作り続けています。この少年の汚れを知らない伸び伸びとした姿、清らかな美しい笛の音が自然と流れてくるようです。

(船越保武作・76年第4回長野市野外彫刻賞・城山動物園)

作品No.14 **笛吹き少年**



日本が経済成長してエコノミックアニマルといわれた時代を風刺した作品で、これは大型電気製品を梱包する発泡スチロールをそのまま鋳型としてアルミニウムで鋳造し、一部平面を旋盤で磨いただけのものです。

(向井良吉作・76年第4回長野市野外彫刻賞・城山公園信濃美術館東)

作品No.15 **アニマル**



モデルのポーズの緊張感が体全体にみぎざって、若い姿態に限りない曲線の美を生んでいます。筋肉の張り、肩の線の流れ、どこから見ても清々しい作品です。

(桜井祐一作・77年第5回長野市野外彫刻賞・城山公園噴水東)

作品No.16 **あるポーズ**



ローマの公園で見かけた風景を、帰国してから思い起こして作ったメルヘンのある作品で、小さい作品ながら、のどかな雰囲気伝わってきます。

(山本正道作・77年第5回長野市野外彫刻賞・城山公園蔵春閣前)

作品No.19 **追憶**



丸太(木材)を2つに割り、その半分の中をえぐり、中心に不等形の穴を8つ開けてあります。裏から見ると、中心の穴の形がユニークな造形を作っています。

(豊福知徳作・78年第6回長野市野外彫刻賞・城山公園花時計東)

作品No.21 **半円柱Ⅱ**



彫刻家朝倉文夫の次女で、長野市野外彫刻賞女性作家第1号です。忙しく全国を回っている青年歌手が、わずかの休養時間にテラスで休憩する姿を表現しています。膝立てた足を台座の外へ半分出していますが、これはリラックスしている心の状態をイメージしたものです。

(朝倉響子作・79年第7回長野市野外彫刻賞・城山公園ふれあい広場)

作品No.25 **憩う**



この作品は、風で廻る彫刻で、鉄の円柱の上に2枚の竹トンボのような板をつけた心棒を取りつけてあります。これが風で廻り、いろいろな造形を作り出します。風速40~50メートルでも耐えられるものです。

(新宮晋作・80年第8回長野市野外彫刻賞・城山公園ふれあい広場)

作品No.31 **遙かなりズム**



この作家は、女体の持つ不思議な力に心を引かれて裸体像を作り続けています。はちきれんばかりの若い女体の輝きが良く表現されており、比較的小さな像にもかかわらず、躍動するこの少女は、大きな空間を占めて公園の一角に存在を誇示しています。

(岩野勇三作・81年第9回長野市野外彫刻賞・城山公園噴水西)

作品No.34 **若い女**



厚さ3ミリのアルミニウムの板を叩いて形を作り、研磨してから溶接し、つなぎ、また磨く作業を続けて全身を作っています。非常にシンプルで、風で廻ることによってスカートの形が変化します。

(関正司作・81年第9回長野市野外彫刻賞・長野大通り権堂駅入口)

作品No.35 **ウインドダンサー**



病気のため東京芸大主任教授を退官した作者は、病気が回復した1981年、心機一転再出発の新しい気持を持って制作活動に取り組もうとする心情をこの像に託したもので、転生の題がそれを表しています。

(菊池一雄作・82年第10回長野市野外彫刻賞・城山公園信濃美術館東)

作品No.38 **転生**



メキシコで制作活動していた石の彫刻家です。口を大きく開けて笑った姿がおおらかで後の顔は舌を出しています。メキシコ海岸に2千年程前まで栄えたオルメカの巨石文化を現代に伝えています。

(高橋清作・83年第11回長野市野外彫刻賞・城山公園花時計西)

作品No.43 **オルメカの微笑**



木曾産のアラragi(イチイ)の太木から刻み出した木彫をブロンズ化したものです。蝶と人間がドッキングしたように見え、人が着物を着て手を広げているのが蝶が舞っているように見えます。

(城野孝一郎作・83年第11回長野市野外彫刻賞・長野大通り横山緑地帯東)

作品No.44 **蝶幻想**



コルテン鋼を素材として、霜柱が土を突き上げるような勢いを表現したもので、その勢いが男の子にあるから題名も片仮名でスケッチ入りにして趣を添えたと言っています。

(最上壽之作・84年第12回長野市野外彫刻賞・長野大通り市役所前駅前)

作品No.49 **ランララチンチンオトコノコ**



作者は、ヨーロッパで石の作品の冷たい感触に感動してこの彫刻を作り、人間の肉実の形態の中に表現したかったと言っています。石をあまり磨かず、素朴さを表現しています。

(高田大作・84年第12回長野市野外彫刻賞・長野大通り市役所前駅前)

作品No.50 **小話**



鉄板を組み合わせて、中心を白として、外側を緑に塗って、人間と自然とのかかり合いを表現しており、内側の赤色は濁りのない心を示しています。明るく心を持って限りない自然の空間とかかわって、平和なる生活をエンジョイしようと呼びかけているような作品です。

(渡辺豊重作・85年第13回長野市野外彫刻賞・少年科学センター)

作品No.51 **ピクニック**



大きな石を同じような形に刻んで少しずつずらしながら積み上げて木が枝を張りながら上へ上へと伸びていく姿を表現しています。見る方向によって異なった美しさを見せてくれます。

(空充秋作・86年第14回長野市野外彫刻賞・長野大通り権堂駅入口)

作品No.56 **しなのの木**



作者は国内のみならず世界各地において「オウシ・ゾウケイ」シリーズの作品を制作・設置し、土地の人々と感動を共有してきました。この作品については、「長野の子ども達にしっかりと目と手とお尻で彫刻に触れてかわいがり育ててほしい。」と語っています。

(牛尾啓三作・07年第34回長野市野外彫刻賞)

作品No.135 **オウシ・ゾウケイ2007**

川中島古戦場～ 松代コース

公共
交通機関の
ご案内

30 松代線 古戦場経由松代行き
(川中島バス)
長野駅善光寺口3番のりばから乗車

野外彫刻 散策マップ

「ながの野外彫刻ガイドブック」を長野市役所で無料配布しておりますので、ご利用ください。



お問合せ先
長野市教育委員会生涯学習課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613
TEL026-224-7504

川中島古戦場

甲斐の武田信玄と越後の上杉謙信が、川中島合戦中ついにこの地で直接対決したと伝えられる。



徒歩2分

長野駅

徒歩2分

池田満寿夫美術館(026-278-1722)

長野市出身の国際的アーティスト池田満寿夫(1997年急逝)の作品を収蔵・展示。



開館時間 / 9:00~17:00(12月~2月9:30~16:30)
休館日 / 7月~11月/無休、12月~6月/毎週木曜日(祝日を除く)、年末年始、展示替期間中
料金 / 一般700円 大学・高校生500円 小・中学生350円

長野市立博物館(026-284-9011)

長野盆地の歴史、地理、文化を様々な資料やジオラマで分かりやすく展示。プラネタリウムを併設している。



徒歩3分

川中島古戦場

真田宝物館(026-278-2801)

真田家伝来の武具、調度品などを所蔵。その中から時期に合わせたテーマにより展示。



開館時間 / 9:00~16:30(入館16:00まで)
休館日 / 毎週月曜日、祝日の翌日、7月第2週月~金曜日、12月29日~1月3日
料金 / 常設展示室:
一般300円 高校生150円 小・中学生100円
プラネタリウム:
一般250円 高校生120円 小・中学生50円

見学時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
休館日 / 毎週火曜日(祝日・年末年始を除く)
料金 / 一般300円 小・中学生120円

真田邸(新御殿)

江戸末期に建てられた九代藩主の母の隠居所。現在、御殿の解体改修工事のため(2011年3月終了予定)庭園と土蔵のみ無料公開。



見学時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
休館日 / 無休
料金 / 無料

作品No.42 演技者

作品No.37 若きカフカス人

作品No.39 CLOUD17(暈)

35分
(600円)

14分
(320円)

松代駅

文武学校(026-278-6152)

松代藩が設けた文武併習の学校として安政2年(1855)に開校。文武全般の大会や講演会、展示会など、多彩な活用が可能。



見学時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
休館日 / 無休
料金 / 一般200円 小・中学生80円
*宝物館・文武学校は共通券(大人350円 小・中学生140円)で見学可能(小・中学生土曜日無料)



徒歩5分

松代城跡(国指定史跡)

武田信玄が上杉謙信の攻撃に備え、山本勘助に命じて築かせたといわれる城。平成16年春に太鼓門と石垣など復元された。また、春は桜の名所として賑わう。



城内見学時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
料金 / 無料

作品No.17 少女

作品No.28 屈む女

真田公園周辺





文化勲章受章の大彫刻家朝倉文夫とは親戚付き合いをしていた作者が、朝倉家で、文夫の孫娘が廊下でスキップしながら毬をついていた一瞬のあどけない姿をとらえた作品です。動きのある可愛らしい作品です。子どもたちが来て、一緒に遊んでいるようです。

(佐藤忠良作・77年第5回長野市野外彫刻賞・真田公園)

作品No.17 ショウジョ
少女



若い女性のやや大きくデフォルメされた裸像です。屈むことにより、筋肉の張り、線の滑らかな美しさが表現され、豊かな髪の毛を肩から前に垂らしたモダンなポーズです。健康美のあふれた清楚な作品です。

(安田周三郎作・79年第7回長野市野外彫刻賞・真田公園)

作品No.28 カガ オムメ
屈む女



市立博物館のモニュメントとしてレプリカを設置しました。ロダンの「考える人」に感動し、絵画から彫刻に転じた作者が大正8年若いコーカサス人をモデルに制作した作品です。昭和2年6月に新潟に旅行した芥川龍之介は、新潟高校でこの像に感動し、6月21日上野駅に着いた時、ノートに次のように記しました。「誰かこの中原悌二郎氏のブロンズの若者にほれるものはないか。この若者は未だに生きているぞ」

(中原悌二郎作・81年特別記念作品・八幡原史跡公園)

作品No.37 ワカキカフカスジン
若きカフカス人



形にあらわすことが困難な気象現象を形象化するのに意欲的に取り組んでいる作家が、薄雲の中に暈(かさ)をかぶった太陽をイメージして、アルミニウムで作った作品。作家は「CLOUD」(雲)シリーズの作品について「地を這い、浮揚する雲霧や暈輪を非日常性に昇華したもの」と表現しています。

(建畠寛造作・82年第10回長野市野外彫刻賞・八幡原史跡公園)

作品No.39 クラウド カガ
CLOUD17(暈)



舞台上で芝居を演技している男性像です。市立博物館やその後方に見える飯綱山を背景にエキゾチックな衣裳をまとった毅然とした姿が印象的です。色は緑青で一層重厚さが加わっています。台座は錆石(御影石)でやや右にずらして像を置き、動きを表しています。

(吉田芳夫作・83年第11回長野市野外彫刻賞・八幡原史跡公園)

作品No.42 エンキョウシャ
演技者

松代コース

公共
交通機関の
ご案内

30 松代線
古戦場経由松代行き
(川中島バス)

長野駅善光寺口3番のりばから乗車

野外彫刻 散策マップ

「ながの野外彫刻ガイドブック」を長野市役所で無料配布しておりますので、ご利用ください。



お問合せ先

長野市教育委員会生涯学習課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613

TEL026-224-7504

徒歩5分

真田邸・真田宝物館・文武学校

真田氏と松代藩の歴史や文化を追体験できる3施設。江戸時代に紛れ込んだような時間と空間に浸ることができる。

見学時間 / 9:00~17:00
(入場は16:30まで)

休館日 / 真田宝物館: 毎週火曜日
(祝日・年末年始を除く)

料 金 / 真田宝物館: 一般300円 小・中学生120円 真田邸: 無料
文武学校: 一般200円 小・中学生80円
真田宝物館・文武学校
共通入場券: 一般350円 小・中学生140円
小・中学生土曜日無料



真田公園

作品No.17 少女

作品No.23 屈む女

旧白井家表門

もと松代の表柴町にあったもので、平成12年に現在の場所に移築復元された。弘化3年(1846)に建てられたもので、三間一戸形式の長屋門で、間口が20メートルもある。



象山神社(高義亭・佐久間象山宅跡) (026-278-2461)

昭和13年に、県社として象山生誕地の東の地域を選んで、造営された。敷地内には象山が来客の折、利用した高義亭がある。



象山記念館(026-278-2915)

幕末に兵学者・思想家・発明家として活躍した佐久間象山に関する資料を展示。

見学時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)

休館日 / 毎週火曜日・年末年始

料 金 / 一般250円 小・中学生100円
象山記念館・旧横田家住宅
2館共通入場券 / 一般320円
小・中学生120円



長野駅

バス
35分
(600円)

松代駅

歴史的
道すじ

松代

長野駅

徒歩5分

松代城跡(国指定史跡)



武田信玄が上杉謙信の攻撃に備え、山本勘助に命じて築かせたといわれる城。平成16年春に太鼓門と石垣などが復元された。

城内の見学時間 / 9:00~17:00

(入場は16:30まで)

料 金 / 無 料

旧横田家住宅(026-278-2274)



主屋、表門、隠居屋と2つの土蔵からなる、極めて洗練された武家屋敷。明治の先進女性の記録「富岡日記」の著者、和田英の生家でもある。

見学時間 / 9:00~17:00

(入場は16:30まで)

休館日 / 年末年始

料 金 / 一般200円 小・中学生100円

松代支所

作品No.74 歴史の彼方へ





文化勲章受章の大彫刻家朝倉文夫とは親戚付き合いしていた作者が、朝倉家で、文夫の孫娘が廊下でスキップしながら毬をついていた一瞬のあどけない姿をとらえた作品です。
動きのある可愛らしい作品です。
子どもたちが来て、一緒に遊んでいるようです。

(佐藤忠良作・77年第5回長野市野外彫刻賞・真田公園)

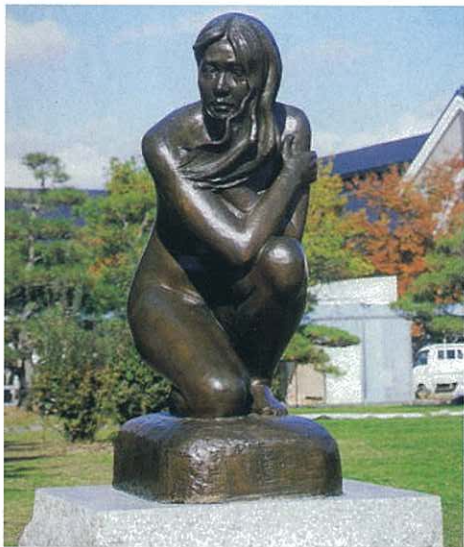
作品No.17 ショウ ジョ
少女



東御市出身の作家です。背を向けあった清純な姿態の女の手に貝を持たせた動きのある裸像です。貝は古代は貨幣として使われたり、食器として使われたり、王朝時代から貝遊びも行われてきました。人間世界と長い歴史的関わりを持つ貝によって歴史の彼方を表しています。古い歴史を持つ松代にふさわしい作品で、未来の新しい歴史を築いていく意図をこの乙女に託しているように思われます。

(竹内不忘作・89年第17回長野市野外彫刻賞・松代支所)

作品No.74 レキ シ カナタ
歴史の彼方へ



若い女性のやや大きくデフォルメされた裸像です。屈むことにより、筋肉の張り、線の滑らかな美しさが表現され、豊かな髪の毛を肩から前に垂らしたモダンなポーズです。
健康美のあふれた清楚な作品です。

(安田周三郎作・79年第7回長野市野外彫刻賞・真田公園)

作品No.28 カガ オンナ
屈む女



南長野 運動公園コース

公共
交通機関の
ご案内

37 田牧線 田牧經由さいなみ団地行
(川中島バス)

長野駅善光寺口3番のりばから乗車
田牧線は、平日のみ運行です。

野外彫刻 散策マップ

「ながの野外彫刻ガイドブック」を長野市役所で無料配布しておりますので、ご利用ください。



お問合せ先
長野市教育委員会生涯学習課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613
TEL026-224-7504

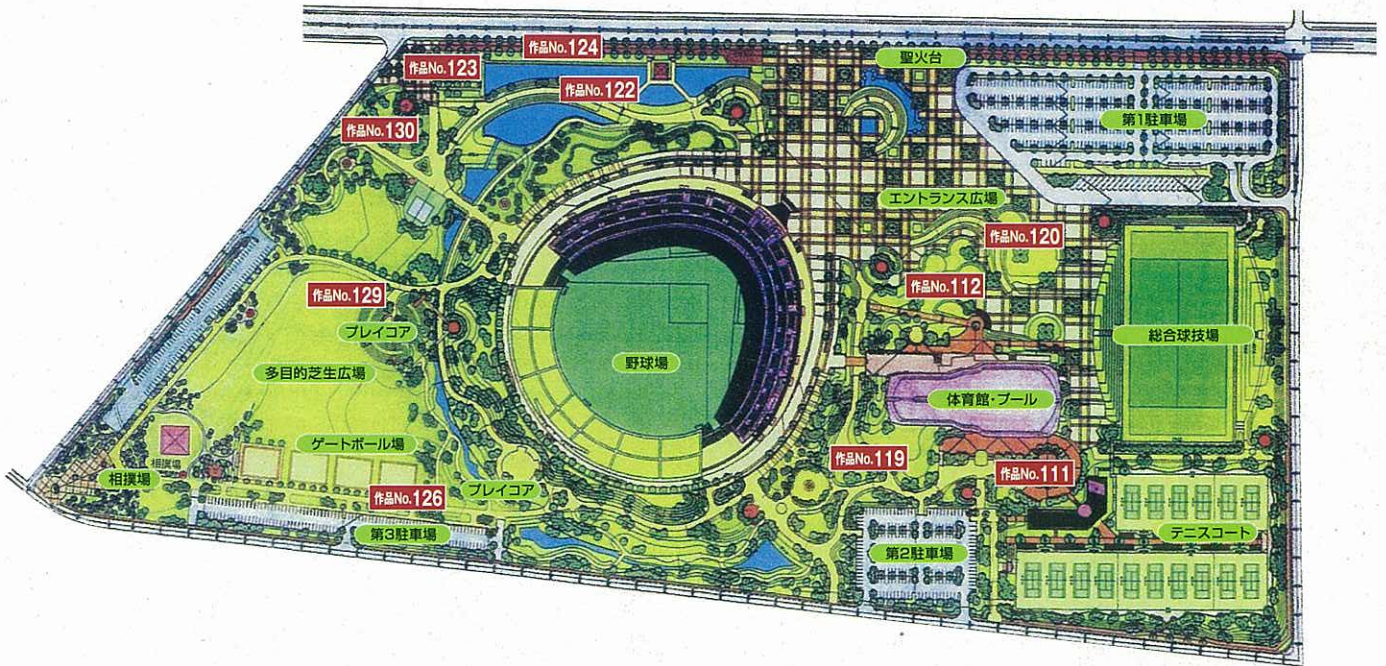
長野駅

約44分(440円)

下布施
バス停

徒歩15分

南長野
運動公園



~散策コース~

作品No.122 うつろひ

作品No.126 風を孕む

作品No.119 岩を動かした風

作品No.124 つなぎ石 作品-38

作品No.129 時空・138-旅人-

作品No.111 太陽の贈りもの

作品No.123 UNTITLED 02-A

作品No.130 “稲妻”《LAMPO》

作品No.112 こだま' 97

作品No.120 連



公園内の近代的な競技施設と周囲の山々を含む広大な自然との対比に魅了された作者が、この場所に必要なものは、人工と自然とを結びつけるインパクトのある造形物であると直感し、制作した作品です。黄色と朱色に彩られた部分が、それぞれに風を受けて動きながら陽光を反射しています。

(新宮 晋作・97年第25回長野市野外彫刻賞)

作品No.111 ライ ヨフ オウ 太陽の贈りもの



東に遠く山なみが広がる広場の一角に、単純化された高い二本の樹と少し離れて腰掛ける少女を組み合わせて温かい雰囲気を感じ出しています。樹が地面に根を下ろし長い年月を経て大樹になっていくその姿に、悠久の時を感じます。この作家の作品は長野市立城山公民館前に「追憶」という作品も設置されています。

(山本正道作・97年第25回長野市野外彫刻賞)

作品No.112 コダマ 97



作者が発明した石の風車が20t余もある白花崗岩の上端で回ります。試行錯誤を繰り返しながら5年余りをかけて完成したフォルムで、あらゆる悩みも憂いも苦しみも吹き流すさわやかな風を見る人の胸に吹きこんでくれるような、壮大ですがすがしい作品です。

(門脇おさむ作・00年第28回長野市野外彫刻賞)

作品No.119 イワ フウ ガセ 岩を動かした風



初夏に南長野運動公園を訪れた際に、澄んだ陽ざし、青い空、いく重にもかさなる青い山に魅せられた作者が、人と山、人と空が重なって生まれる動きのつながりを表現しています。表面の錆が保護膜となり、内部までは腐食が進行しないコールドレン鋼を素材とした作品で、木々の緑に映える赤褐色の表面は、肌のような温かみのある質感となっています。

(澤田美保作・00年第28回長野市野外彫刻賞)

作品No.120 レン 連



池の中に設置された「うつろひ」は、重量感のある物体としての彫刻と異なり、変化そのものの、特に光、時間、空間の変化をその主題としています。しなやかな12本のステンレス・スティールのワイヤーが風にゆれ、陽に照らされて輝き、水面にゆらぎ映るまわりの空気も取り込んで、一瞬ごとに姿を変えています。

(宮脇愛子作・01年第29回長野市野外彫刻賞・南長野運動公園大池中)

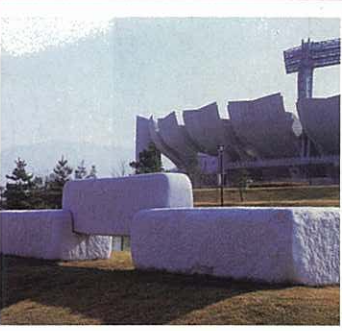
作品No.122 ウツロヒ うつろひ



「雨水が木々をつたって、大地に吸いこまれていく。その後、こんこんと湧きだす水となって再びその姿をあらわす。やがて、川に注ぎ込んで海へと渡り、太陽のちからでまた雨にもどる。この形にならない自然の摂理のようなものをあえて形にしてみました。」作者の思いです。ステンレス・パイプに陽光が反射して、豊かな輝きを見せる作品です。

(前田哲明作・01年第29回長野市野外彫刻賞)

作品No.123 アンタイトル UNTITLED02-A



20tもある巨大な白御影石は、茨城県の地下岩盤から切り出されました。いま、彫刻作品となって地上での時を得た石たちは、このあと、風化し尽きるまでの長い長い時間を、人や文明の齢をこえて、陽の光や、風雪の中に、頑として横たわり続け、石本来の存在の深さを語り続けているかのようです。

(山根 耕作・01年第29回長野市野外彫刻賞)

作品No.124 ツナギイシ つなぎ石 作品-38



作品設置にあたり作家は「人々は自然の脅威に対抗しながら恵みを受けている。作品の形は帆のように、旗のように風を受けて膨らみ、強い風には逆らわず自然と人間の間に調和したい。」と語っています。素材の南アフリカ産黒御影石に磨きの技を加えることによって、温かみを感じさせるライトグレーの色合いが表現されています。

(丸山 映作・02年第30回長野市野外彫刻賞)

作品No.126 カゼ ハル 風を孕む



公園内の芝生広場に、1450余個の赤レンガを積み重ね、楕円形に造形された彫刻が置かれています。河原や海辺で見かける滑らかな小石から着想を得たこのかたちは、永い年月からの贈り物です。作品の表面は三角形・正方形・長方形によって構成され、モザイクを思わせる美しい装飾模様になっています。

(石井厚生作・03年第31回長野市野外彫刻賞)

作品No.129 ジクウ 時空・138-旅人-



高さ4m、重さ5tの巨大な鉄柱を素材とした作品です。がっちり組み合わせられた鉄柱によって作り出された迫力のある形が、南長野運動公園の上に広がる大空に、きらめきながら莫大なエネルギーを放出して通過していく稲妻を描いているかのようです。

(長澤英俊作・03年第31回長野市野外彫刻賞)

作品No.130 イナズマ “稲妻”《LAMPO》